

弁理士

---

2023年向け 特別公開講座  
これからの弁理士業界とは？魅力や将来像  
江口 裕之 LEC専任講師

---

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 001313 220024

MM22002

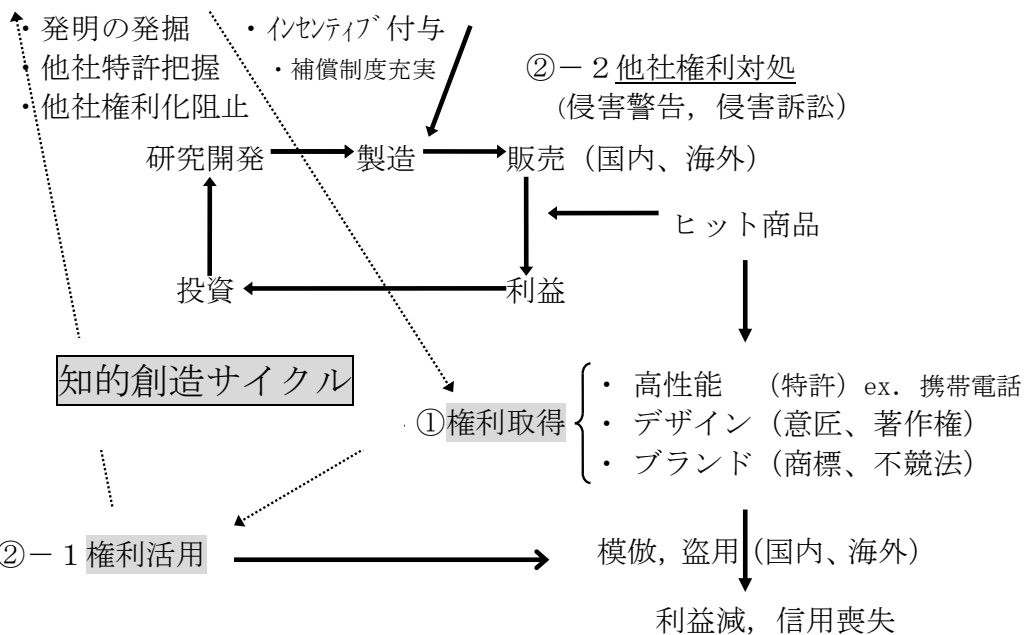
これからの弁理士業界とは？～魅力や将来像～

知的財産権

侵害=>差止請求、損害賠償請求という強大な法的効果

企業活動（知財を作る、とる、使う、かわす、活用）（内外）

③知的財産の創造・開発支援 他社知的財産権（国内、海外）



- ・著作権、不正競争の仲裁
  - ・関税定率法による水際措置の申し立てなど
  - ・実施許諾などの交渉、契約書作成など
- 特許権侵害訴訟代理（付記弁理士）

④情報の活用

- ・人（出願人、発明者）、技術（課題、手段、効果）、時（出願時、公開時）
- ・審査の情報（他者特許との関連性）

## 知財を事業戦略に活用

### A. クローズ戦略

- ・ 研究開発から製品化までを垂直統合の形で全て自社内で完結させるモデル
- ・ しかし、環境変化
  - ・ グローバル経済化による競争激化、製品ライフサイクルの短縮、
  - ・ 技術の高度化、複雑化による技術開発コストの上昇
  - ・ デジタル化によるビジネスエコシステムの進展

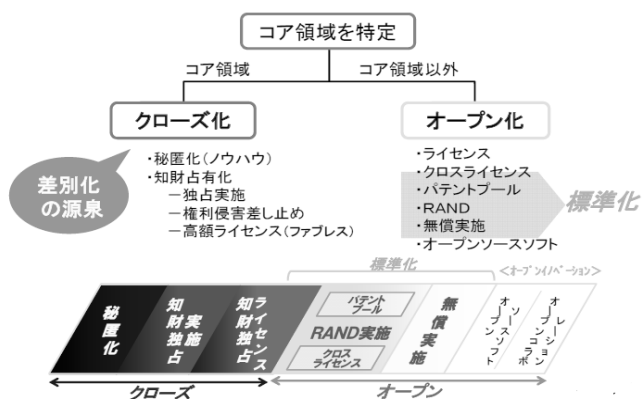
### クローズ戦略の限界！！

### B. オープンイノベーション

- ・ 外部の知識・技術を活用しつつ研究開発や事業化を行うモデル
  - ① 大学等からの技術導入
  - ② 他社技術と交換
  - ③ 自社技術の解放

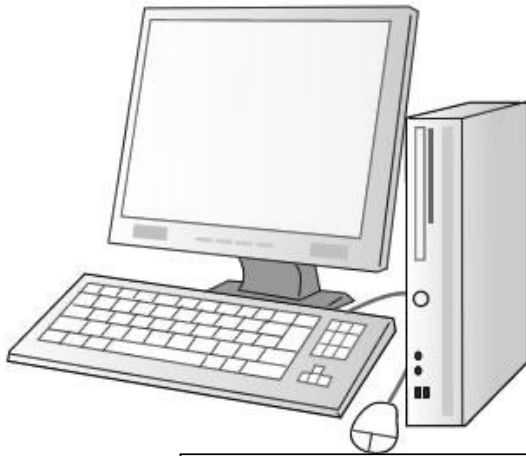
### C. オープン・クローズ戦略：知財障壁をどこに作る？、どこを開放？

非競争領域（標準化）と競争領域の設定、競争領域の知財による差別化



「知的財産政策ビジョン」 2013年6月7日 知的財産戦略本部 ～  
(<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/vision2013.pdf>) より

オープン・クローズ戦略

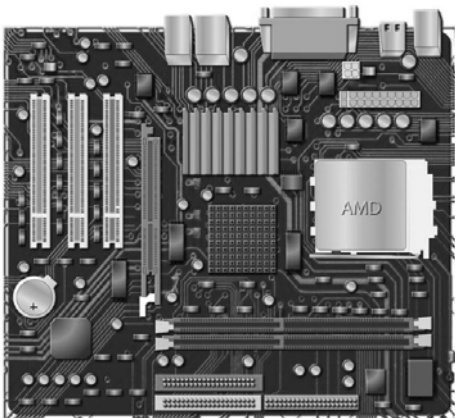


<http://www.civillink.net/fsozai/pc.html>無料イラスト

自社ですべて生産=>価格？（利益大？）（販売数は？）

VS

デジタル化、モジュール化による国際分業体制確立  
=>価格？（利益小？）（販売数は？）



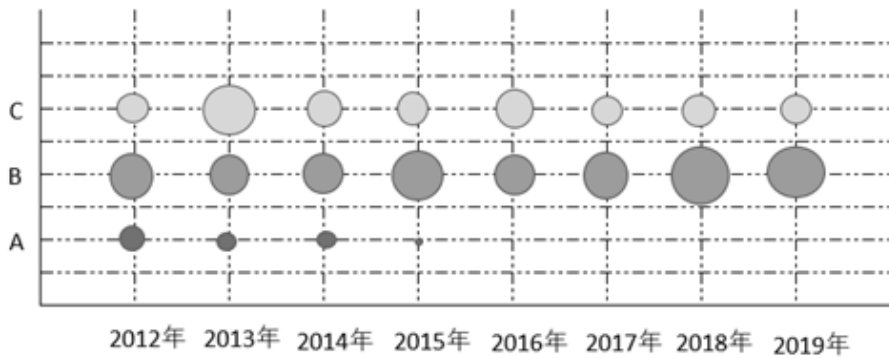
CPU：特許  
搭載マザーボードを大量供給（アジア企業）  
インターフェースをオープン  
=>CPUは価格維持  
それ以外は価格競争でパソコン低価格

<https://publicdomainq.net/motherboard-mainboard-0007409/>無料イラスト

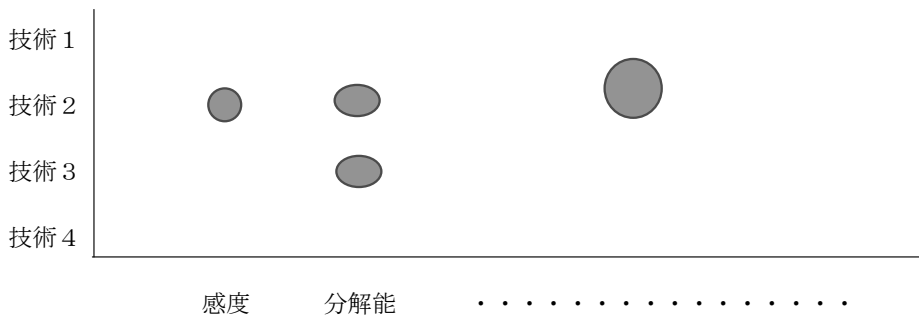
I P ランドスケープ :

知財情報から、他社の開発動向、新規市場の探索などに基づく経営、事業戦略支援

■ 競合の開発動向調査



■ 分析装置  $\alpha$  の開発トレンド



■ 顧客情報等

# 1. 権利取得

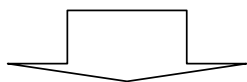
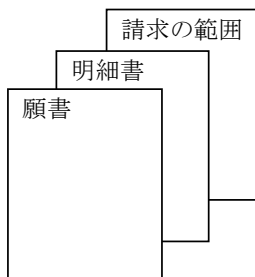
## 1-1. 産業財産権とは

特許庁ホームページより抜粋



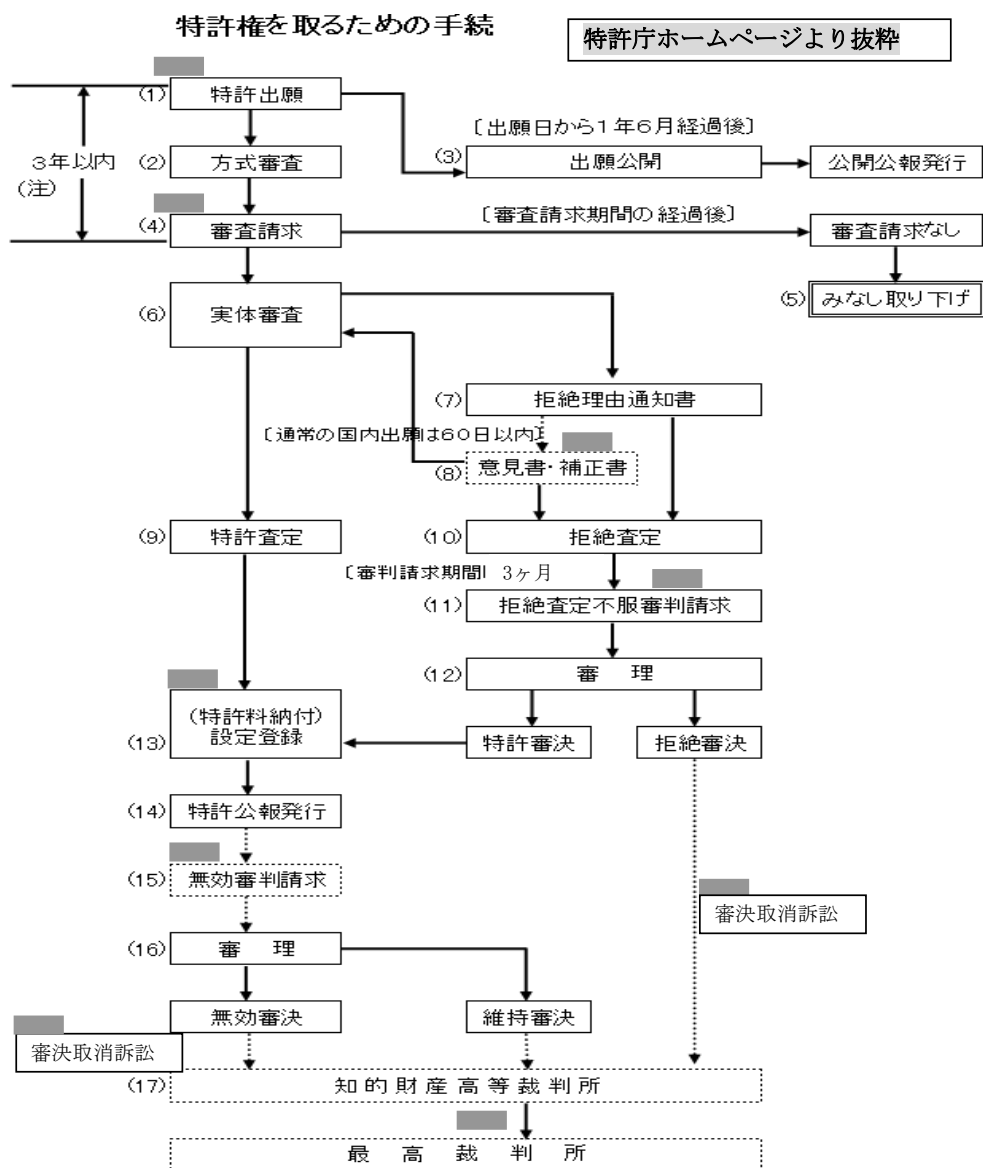
### 出願書類作成

- ・化、化以外：機械、電気、物理、ソフト
- ・外国業務（現地法律に促した明細書の作成、翻訳等）



### 特許出願

## 1-2. 手続概要 (取る)



## 2. 弁理士優位性

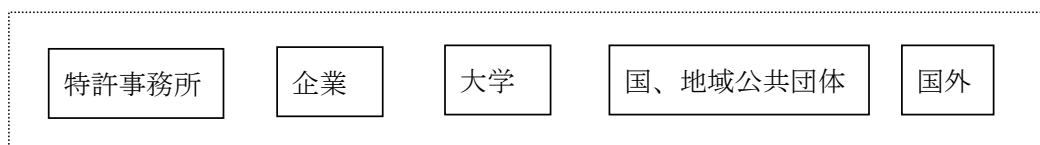
非常に有望：産業成熟により新技術、アイデアが生き残りのカギ



知的財産の活用不可欠



知的財産業務の多様化、弁理士の業務範囲の拡大



要求される能力広範=>多様な分野で多様な能力発揮可=>やりがい

- ・ 出願書類の作成力
- ・ 各種分野の技術的理解力（機械、電気、画像処理、ソフト、化学、バイオ、医薬など）
- ・ 発明のポイントを捉え、強い権利として仕上げる能力
- ・ 中間処理（対特許庁）対応、審判対応
- ・ 拒絶のポイント把握、登録性を説得する論旨の組み立て能力
- ・ 交渉力
- ・ 技術価値、発明価値の目利き（発明評価力）
- ・ 各法律知識（知的財産権、民法、民事訴訟他）
- ・ 判例知識（法律判断をした判例）
- ・ 訴訟能力（訴訟戦略、実務）
- ・ 各国法令の知識（米、欧、アジアなど）
- ・ 英文力（ドラフト、コレポン）など
- ・ . . . . .



### 3. 弁理士となるためには

■弁理士試験に合格⇒H20年から試験制度大幅改革

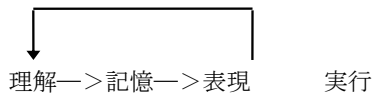
- ・短答：特、実、意、商、条、著、不正競争（合格翌年から2回免除）
- ・論文：特・実、意、商、選択（但し、大学院修了者等免除）

■弁理士実務研修

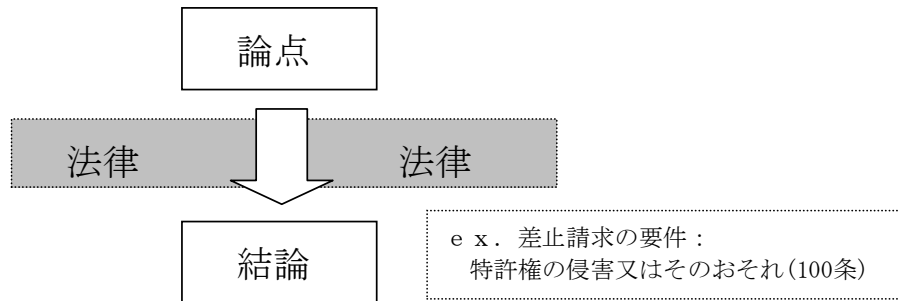
■弁理士登録

### 4. 合格の秘訣（適切な方法論とその実行）

- (1) 絞る：必要最小限の内容を必要最小限の時間で理解、記憶
- (2) わかる：砕いて理解⇒知識のトリが発生
- (3) 入れて、残す：
- (4) 出す



### 5. 法律の基本



例題：甲は自転車Aの特許権者であるが、乙が自宅で自転車Aを組み立て、組み立てた自転車Aを個人的に使用している事実をつかんだ。甲は乙の使用行為を差止めることができるか。

解答：甲の差止め不可（結論）

（思考過程）

- ・甲の差止め⇒乙の行為：特許権の侵害又はそのおそれ（事案から論点抽出）（法律要件、効果）
- ・ここで、特許権の侵害：正当理由、権原なく第三者が特許発明を業として実施
- ・本問の場合⇒乙は個人的に使用⇒業として使用に非該当⇒特許権非侵害（当てはめ）

特許法100条：

特許権者又は専用実施権者は、自己の特許権又は専用実施権を侵害する者又は侵害するおそれがある者に対し、その侵害の停止又は予防を請求することができる。





**れっく LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2021 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

MM22002